

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 尚進	代表者	関口 忠男	法人・事業所の特徴	いつも明るく笑い声が聞こえるアットホームな雰囲気の実業所です。医療機関と連携し、体調の変化に対応し、終末期・ターミナル期・看取りの対応をさせて頂いています。利用者様の夢を叶える「夢プロジェクト」や、毎年ご家族を招いての「ふきのとう祭り」などでは、皆さんが笑顔で喜んで頂いています。
事業所名	小規模多機能ホーム ふきのとう	管理者	関口 由美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	3人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	目標をもっと意識して取り組み、その成果を報告する。	よく取り組んでいると思う。できない点等の話し合いもあり、反省点もあげられていた。	具体的な計画が立てられているので良いと思う。	スタッフの取り組みと意見を簡潔にまとめ、わかりやすく報告する。
B. 事業所のしつらえ・環境	ボランティアの参加を積極的に行う。	ボランティアも来ているし、花植えやゴミ拾い等の町内や区のボランティアにも参加出来ている。	認知症カフェの取り組みから考えると地域の方が出入りしやすいとは言えないようだ。	職員が地域の催しなどに参加し、ふきのとうを知ってもらおう。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方が気軽に来れるように、有楽町会館での認知症カフェ（独自）を検討する。	有楽町会館での認知症カフェを実施した。	会館での認知症カフェは市では認められていない。認知症という言葉に抵抗もあるようだ。そのようなことをふまえ、11月には地域ケア会議で認知症カフェについての説明があるようだ。	他事業所の認知症カフェにスタッフが参加し、地域の人との交流の機会を持つ。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	さらに、多くの人たちと、ゴミ拾いを実施する。	ゴミ拾いや地域行事に参加できる人が偏っていた。	町内会の方などとの交流会や相談会などが実現すると良いと思った。	ゴミ拾いや地域行事に多くの利用者が参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	認知症カフェを多くの方に知ってもらえるように、区や地域の方と協力する。	清田区や予防センターの方と、話し合いの場を持つことができた。ケア友の会にも参加し、介護者の方々の話を聞くことができた。	運営推進会議で地域の取り組みや意見を聞くこともでき、事業所の活動を知る場となっている。	運営推進会議の場で、地域の中での心配事などについて話し合う機会を作る。
F. 事業所の防災・災害対策	清田小学校の防災マニュアル作成に参加する。	清田小学校の防災マニュアル作成の参加は実現できなかった。	今回の地震を受けて、普段から防災について考え、話す機会をもつことはとても大事だと思った。いざとなったら、どうしていいかわからない。	運営推進会議の中で避難訓練を実施する。